

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

ウェルおおさか

vol.145 2023年8月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

ディスレクシアって、なに？

正しい理解と、学びやすい環境をめざして

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



ディスレクシアって、なに？

正しい理解と、 学びやすい環境をめざして

ディスレクシアって、ご存知ですか？ギリシャ語で「困難を意味するdys(ディス)」と、「読むを意味するlexia(レクシア)」の合成語で、日本ではLD(学習障がい)の一つのタイプとされます。ただ、知的レベルなど全般的な発達に遅れはありません。学校などで勉強する機会があるものの「読むこと」(特に音読)だけがスムーズにできないという特徴があり、読みが苦手だと書くことも難しくなるケースもあります。周りに気づかれることなく困っている子どもたちの存在も浮かびます。今回は、まだ知らない人や誤解も多いディスレクシアについて正しく理解していただき、その子どもたちが学びやすい環境をつくるために、どうすればいいのかを考えます。

クラスに3人!?知られずに 困っている子どもたち

小学校時代、クラスに音読が苦手な子はいませんか。ディスレクシアは、日本語を使う人の約8%いるといわれ(筑波大学元教授・宇野彰氏の研究報告より)、クラスに2~3人はいる可能性があります。

日本では、ひらがな、カタカナ、漢字、ローマ字を使い分ける特性があり、ディスレクシアに気付く時期は人によって分かります。まず幼稚園や保育園のころに「絵本に興味を示さない」「絵本にないことを口走る」という症状から気付いたり、小学校2~3年生のころにクラスの中で音読の苦手さが目立ち、学校の先生や保護者が気付く場合があります。ただ、1回読めば耳で覚えて暗唱したり、口頭で説明すれば分かる子もいるため、見逃されることもよくあります。また複雑な漢字や、同じ漢字の音訓の違いで、つまづく場合もあります。これも音や形から意味を連想して読み進められる子は見逃

されがちです。さらに、中学校から始まる英語で明らかになる子もいます。アルファベットは形から意味を連想することが難しく、英語の成績が振るわないケースがあるようです。こうした時期に、よく注意して見てあげてください。

正しい理解が進んでおらず 誤解も多いディスレクシア

ディスレクシアには2種類があり、先天性と、事故や病気で脳が損傷して起こる後天性があります。大半は先天性です。親のしつけのせいや、本人が怠けたりふざけたりしているわけではありません。

また、ディスレクシアの特徴として、視覚からの情報を理解することは難しいですが、耳から聞いた情報を整理して、相手にわかりやすく伝えることができる子どもは多いといわれます。「『わ』と『ね』のように似た字を間違えやすい」「一文字ずつ手でなぞりながら読む」子どもが多いといわれることもありますが、一概に同じ傾向があるとは言いきれません。また、

「物静かな子が多い」といった性格や「文字が揺れる」という見え方を指摘する人もいますが、他の発達障がいを合併している可能性もあり、ディスレクシア自体にそういう傾向はないとされています。

各自治体の窓口や、かかりつけ の小児科医に相談を

発達障がいの中でも、ディスレクシアについては、まだ理解が進んでいません。早期発見すれば、学習の工夫や、支援ツールを使うことで本人のスキルを伸ばせる可能性があります。「もしかしたら、うちの子も…」とご心配でしたら、まずは学校のスクールカウンセラーや、大阪市の各区保健福祉センターの窓口などに相談を。また、かかりつけの小児科医に相談し、大阪医科薬科大学LDセンターや堺清恵会LDセンターを紹介してもらえれば検査が可能です。

次ページからは、ディスレクシアの子どもたちが学びやすい環境づくりにかかわる方や、当事者団体の活動などについて紹介します。



子どもたちに個別最適化した教育ができれば、社会は変わる

認定NPO法人 EDGE(エッジ) 代表 藤堂 栄子さん

息子の留学で初めて知ったディスレクシア

「NPOを立ち上げたのは、息子のイギリス留学がきっかけです」と話す、認定NPO法人EDGE(エッジ)代表の藤堂栄子さん。「息子は音読でからかわれたり、漢字を何百回も書く宿題を与えられたり、分かっているのにうまく書けなくて、苦労していました。一方で、理科の観察など自分の興味のあることは得意で夢中になる。私自身が、読み書きにそれほど重きを置かなかつたので、長所を伸ばせばいいという考え方で育ててきたんです。

転機が訪れたのは1999年。息子さんが15歳のときに訴えました。「ママ、日本の学校では、これ以上伸びないし、僕の面白さを分かってもらえない。イギリスに留学させて」。藤堂さんは「型にはめる日本の学校に居心地の悪さを感じたのかもしれない」と、息子さんの思いに沿い、イギリスへ送り出しました。しばらくして留学先の学校の担任の先生から連絡が。「息子さんは頭の回転が速くコミュニケーション能力も高い。ただ英語の読み書きの能力が、日本人であることを差し引いても劣っています。ディスレクシアかもしれないので検査をさせてください」と。藤堂さんが「ディスレクシア」という言葉を聞いたのはこのときが初めてでした。検査の結果、息子さんはディスレクシアと教育的診断(※)されます。そのときに、先生から「おめでと

う!16歳と少し遅くはなったけど、彼が希望する建築家になるために、ディスレクシアに対応した方法や変更・調整をします」と言われたことが衝撃的で、イギリスの教育の仕組みの先進性と質の高さを実感されたそうです。

藤堂さんは振り返ります。「息子が教育的診断された後、40代だった私もディスレクシアかもしれないと疑いました。電車に乗るときに、行き先表示の文字を瞬時に読めなかったり、電話で聞いた待ち合わせの場所や日時を間違えてメモするなど困ったこともありましたが」。ただ、当時の日本に大人のディスレクシアを評価する方法がなく、60歳になってからディスレクシアと評価された藤堂さん。「私は特に生活に支障はなく、大学にも行けたし、ありのままの自分で生活できました。これも自由に育ててくれた父母のおかげ。息子にも自由にさせてきてよかった」と明るく笑います。

現状を変えるためにNPOを立ち上げる

あるとき息子さんは言いました。「僕はラッキーだ。イギリスに留学できる環境だったおかげで診断できて、サポートを受け進む道も見えてきた。でも僕だけがラッキーではダメ。思い返せば日本ではもっと困っていた子たちがいた。僕は大丈夫だから、ママは日本でディスレクシアのことを広げて、状況を変えてほしい」。

この言葉に共感した藤堂さんは、NPOのエッジを設立。ただ、当時日本にはディスレクシアに関するWebサイト

がなく、海外のサイトから情報を集め、発信してきました。以来、「ディスレクシア」という言葉を使い続けている藤堂さん。「この言葉はあまり知られていないので、ディスレクシアって何ですか?と問いかけられたら、お伝えできるチャンスになります。また、ディスレクシアの子どもは、勉強ができない、字が読めないと理解されがちですが能力は十分ある子たちなので、教育でいくらかでも解決できる特性の一つなんだと啓発してきました」。

世界規模のイベントに参加し、発信を続ける

エッジの活動は、イベントなどでの啓発活動や、個別相談・アセスメント(評価)、当事者同士や支援者のネットワークの構築、企業・学校・行政・医療機関などでのワークショップや講演の開催など、多岐に渡ります。2021年にはエッジが主体となり、アジア・太平洋ディスレクシアフォーラムを開催しました。「大会の機運を高めるために開催の5年前から、アジア太平洋地域の各国を回ってディスレクシアの人たちに何ができるかを話し合ってきました。ちょうど2015年から持続可能な開発目標SDGsがスタートし、“誰もが質の高い教育を受ける権利がある”という考えが広まり、ディスレクシア普及の追い風になっています」と藤堂さん。

また、ICT(情報通信技術)を活用したツールの開発にもかかわる中で、音声教科書の制作では苦労を重ねてきたそうです。「AI“声の職人”という人工音声

※アメリカやイギリスでは学校心理士や教育心理士が診断(教育的診断)し、支援につなげる。日本では医師が診断書(医学的診断)を出します(藤堂さん)。

で読み上げるシステムと出会い、大きく変わりました。音声教科書『BEAM』は、音声を聞けるスマートフォンやタブレットなどにダウンロードすれば、正しい日本語の音声を分かりやすいイントネーションで聞くことができます。ディスレクシアの人の多くは文字を読むことは苦手でも耳で聞けば理解できるので、すぐ役に立つといわれています」。

社会のミカタを変え、ミカタを増やす環境づくり

特に今、「NEXT EDGE(ネクストエッジ)」に一番力を注いでいるという藤堂さん。

この目標を達成するために、LSA(学習支援員)養成講座や、読み書きの指導支援にかかわる教員向けのe-ラーニングなどによる人材育成、相談・アセスメント活動やワークショップの開催、当事者同士のネットワークづくりなど、質の高いサポートにつながる活動に力を入れているそうです。

困っている子どもに、もっと手を差し伸べて

藤堂さんは、『BEAM』などディスレクシアのために開発されたITツールも数多くあるのに、まだまだ具体的な支援につながっていないと指摘します。「ディスレクシアの教育的診断につながるアセスメント(評価)は、読む“スピード”と“正確性”、書く“スピード”と“正確性”の4つの視点でおこなうのですが、

いまだに医師の診断書(医学的診断)が必要と思込んでいる学校や施設が多くあります」と藤堂さん。現行の障害者差別解消法では診断の有無を問わず、困難さがあれば支援や配慮をするべきとあり、2024年4月からは公立でも民間でもそれが義務になっています。「今も50万人以上が受験する共通

テストで配慮を受ける場合は“診断書の提出”が条件です。日本では医師が診断書を出しますが、アメリカやイギリスでは学校心理士や教育心理士が診断(教育的診断)し、すぐに具体的な支援に入ります。医師の診断書は相当厳しい状態でないと出ませんが、そこまでいなくても十分に学習に支障をきたします。診断書がないと学校で支援ツールやアプリを使えない自治体もあります。本人が困っているなら診断書がなくても動くべきです」と、歯がゆさをにじませます。

東京・港区でディスレクシアのアセスメントを実施

エッジは、2022年に東京都港区で約1万2千人の小中学生にディスレクシアを紹介するチラシを配布し、掲載されたQRコードからアプリでいくつかの質問に答え、ディスレクシアの可能性が高いと分かった方たちに集団アセスメントを受けられるようにしました。その結果をもとに家庭学習を子どもに合わせ、学校での対応も進みました。本年度はこの活動を継続し、他地域にも広げ、一校を選



▲多数の講演会に登壇し、啓発を続ける藤堂さん

んで、希望者だけではなく全校生徒に読み書きのアセスメントを実施し、授業の改善や学習方法の多様化に応える取り組みを行う予定です。「これが意識づけになり、個別最適化された教育につながって、本人が本来の能力を発揮できるようになれば、と考えています」と、今後の成果に期待を寄せています。

エンパワメントセンターを主要都市に設置したい

発達障がいとは神経や脳の違いによる個性だとする「ニューロダイバーシティ」という考え方が広まる中、藤堂さんは「ディスレクシアも多様性の一つとして認め、社会のバリアをなくすることが大切」と話します。「その活動の一つとして、本人を中心に据えた“エンパワメントセンター”を全国の主要都市6カ所につくりたい。各種情報を発信したり、本人や保護者の相談に乗ったり、人材育成ができる拠点になれば」と力を込めます。今年の10月には、全国でディスレクシアの情報を発信する月間キャンペーンを実施。その一環として10月7日・8日に東京都港区の区民まつりでエンパワメントセンターのブースを出展する予定です。

「最終的な目標は、私たちのNPOをなくすこと。当たり前前にディスレクシアの人を受け入れ、子どもたちに個別最適化された教育が提供できるようになれば、必要ないわけです。そういう社会を築いていきたい」。藤堂さんのチャレンジは、まだまだ続きます。

ネクストエッジ

NEXT EDGE ~ミカタを変え、ミカタを増やす~

ディスレクシアの人たちはEDGE(エッジが効いた、先を行く感覚)を持っています。

同時に、対応を間違えるとEDGE(崖っぷち)に追いやられてしまいます。

本人、保護者、支援者、教育関係者が力を合わせて、社会のミカタ(見方)を変え、ミカタ(味方)を増やします。そのために、社会の啓発、本人・保護者へのエンパワメント(自信をつけること)、支援者の人材育成、ネットワークの構築をおこなっていきます。

連携でつくる、ディスレクシアの子どもにストレスのない学びの環境

大阪医科薬科大学 小児高次脳機能研究所・LDセンター
オプトメトリスト・医学博士 奥村 智人さん



「文字がゆがんで見える」は誤解です

大阪医科薬科大学附属LDセンターでは、言葉の遅れや認知機能に偏りを持つ子どもたちを、附属病院と連携して支援しています。奥村智人さんは視覚機能の専門家・オプトメトリストとして、目の動きが弱かったり、モノの形をとらえたりすることが苦手な子どもたちの視覚機能の検査やリハビリを担当。「私はディスレクシアなど読み書きに関する検査を実施するわけではありませんが、様子を観察して特性をつかみながら、それぞれに応じた視覚の訓練やサポートの内容を検討しています。言語聴覚士が行う検査や指導の内容をデータ化・分析し、新しい検査や支援方法の開発にも活かしています」。

ディスレクシアは近年、テレビや雑誌で取り上げられますが、「誤解を生む表現がある」と奥村さん。「例えば、文字がゆがんだり動いて見えたりすると紹介されますが、それはディスレクシア自体の症状ではありません。一部に、アーレンシンドロームなど他の発達特性による合併症状があるだけです。ディスレクシアは、あくまでも“音読(文字を音に変換する)”に問題がある人のことをいいます」。それぞれに対して、適切な対応を行うことが大切です。

ここ数年で教育現場の支援ツールが充実

2016年に障害者差別解消法が施行され、障がい者に合理的配慮が求めら

れるようになりました。ICT(情報通信技術)を使った支援ツールも次々に開発され、家庭や教育現場で利用されるようになっていきます。その中の一つ、『マルチメディアDAISY(デイジー) 図書』や『UD-Book』は、読み上げ・文字のハイライトといった機能を搭載。「私の研究で、文字だけを見たり音声だけを聞くよりも、文字と音声を同時に提示し、読んでいる場所をハイライトで明示した方が理解力が向上することが、検査データで確かめられました。DAISYなどのツールは、ぜひ活用してほしいものです」(支援ツールは、「文部科学省・音声教材」で検索可能です。)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shoutou/kyoukasho/1374019.htm

また、奥村さんはオープンDNAアプリ『読めてる?』を監修。このアプリをスマートフォンなどに入れれば手軽にディスレクシアに関する情報や症状の簡易チェック、読みの困難さの体験ができます。「近年では、ディスレクシアなど読み書きの困難があっても入試の際に不利にならないよう、試験の時間延長や代読・代筆を認める高校・大学も増え

ています。ただ、このような配慮を受けるには出身校で配慮を受けてきた実績も重視されます。そのため私たちは学校の先生や保護者と連携して、普段の授業や定期試験などで音声読み上げ機器を含む合理的配慮を適切に活用できるようにする啓発活動を行っているところです」。

さまざまな多様性を認めあう社会をめざして

「以前は“読むことが苦手なら、訓練して改善しよう”という風潮がありましたが、現在は“その子の特性を受け止め、学習しやすい環境をつくろう”という考え方が主流です」と奥村さん。「人それぞれ特性があって当たり前。もっと多様性が認められ、みんなが仲良く助けあえる社会にしていきたいですね。その目標に向けて環境改善への啓発を続け、専門職としては、より使いやすい検査や支援のツールを開発していきたいと考えています」と、言葉に力を込めました。

ご家族や学校の先生へお願い

ディスレクシアの子どもに無理に文章などを読ませようとすると、学習意欲が低下したり、心の傷になったり、ときには不登校につながるケースもあります。クラスで音読を担当させないようにする／できるだけ短いところを読ませてもらう／事前に音読する箇所を聞き、家で練習させてもらう／書くよりも“読み”を先に練習する／学習中に声をかける／といった配慮を学校の先生がおこなったり、家庭で配慮を心がけることで、子どものストレスを少しでも軽減しましょう。

新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは？

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

5月からアシスタントワーカー受入れに向けた研修が始まりました。

各施設は、現在介護職員がおこなっているさまざまな業務を洗い出しながら「注意業務」「単純業務」など、業務の仕分けに取り組んでいます。

6月には各施設にアドバイザーが訪問し、現在の進捗や困りごとについて共有をして、アドバイザーから細かくフィードバックを受けました。本事業を進めるうえで重要なのは「周りの職員を巻き込みながら進めていく力」です。「今、こんなことに取り組んでいる」ということが周囲にしっかり伝わるよう、各施設のリーダー職員が中心となって、啓発に工夫を凝らしています。

各施設それぞれ課題は違いますが、より良い職場づくりに向けて、力を合わせながら取り組んでいます。

《訪問の様子》



特別養護老人ホームジュネス



特別養護老人ホーム ファミリー



特別養護老人ホームミネルヴァあべの

アドバイザー紹介 (アドバイザーは昨年度に引き続き、柴垣竹生先生です。)



株式会社エクセレントケアシステム 執行役員 人材開発部 部長 **柴垣 竹生氏**

大手生命保険会社勤務後、1999年に介護業界に転じ、上場企業および社会福祉法人において数々の要職を歴任。公益財団法人介護労働安定センターを中心に、介護事業マネジメントに関するコンサルティング・講演の実績多数。兵庫県立大学大学院(MBA)非常勤講師も務める。近著に『老いに優れる』『介護現場をイキイキさせるマネジメント術』がある。

令和5年度 アシスタントワーカー導入取組み施設

社会福祉法人 大阪自彊館

特別養護老人ホーム ジュネス

〒533-0023
大阪市東淀川区
東淡路1-4-49
メゾン リバルテ
☎06-6325-3336



社会福祉法人 たらちね事業会

特別養護老人ホーム ファミリー

〒538-0032
大阪市鶴見区
安田2-1-27
☎06-6915-1717



社会福祉法人 日本ヘンケラー財団

特別養護老人ホーム ミネルヴァあべの

〒545-0011
大阪市阿倍野区
昭和町3-4-27
☎06-6629-1110



大阪市社会福祉研修・情報センター 貸室のご案内

社会福祉に関する会議、研修や
介護実習にぜひご利用ください。

前日荷物預かり
※個数制限あり
(事前予約制)

無料Wi-Fiサービス
有料コピー機あり(2F)

パソコン・シーツの
レンタル(有料)



大会議室
144名
(214㎡)



会議室
99名
(139㎡)

※2つに区切って使用可。



介護実習室
36名
(165㎡)

※ベッド・浴槽は4つあります。



演習室
18名
(37㎡)

貸室の使用料やインフォメーションは、本誌裏表紙でも詳しく案内していますので、ご覧ください。

親族後見人等相談会 個別相談会

参加費無料

事前予約制

家庭裁判所に申立てをして、**親族の後見人**になったけど…

後見人に選任されたけど、
気をつけなければいけないことは？

後見人になり、監督人も
選任されたけど、何を
するか相談してもいいの？



本人が訪問販売で不要な物品を
購入してしまったとき、後見人として
どのように対応すればいいの？

家庭裁判所に
提出する書類、財産管理等
どうすればいい？

専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士のうち1名)が、
成年後見制度の活動・事務に関する”疑問”にお答えします

対象／現在、親族の後見人等をされている方(本人または後見人等が大阪市民であること)

日時／8月24日(木) 9月21日(木) ①13:30～ ②14:30～ ③15:30～ (相談時間は45分間となります)

※定員等で日時のご希望に添えない場合がございます。※対応する専門職の指定はできませんのでご了承ください。

会場／大阪市社会福祉研修・情報センター

申込／①希望日 ②氏名 ③住所 ④電話番号

⑤現在の状況(親族の後見人等として選任されている、親族と任意後見契約を交わしている)

⑥相談したい内容を記載のうえ、FAX・メール・ハガキにて下記宛先までお申込みください。

※受付は1週間前まで。定員(1日6組)に達し次第、締切り。

申込・問合せ／大阪市成年後見支援センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 大阪市社会福祉研修・情報センター3階

☎06-4392-8282 FAX06-4392-8900 ✉yousei@shakyo-osaka.jp

HPIはこちら▶



講座案内

●市民向け講座

市内在住、在勤、在学の方

講座名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
介護実習講座 入門コース	①水曜日コース 9月6日・13日・ 20日 14:00～16:00 ②土曜日コース 10月14日・ 21日・28日 10:00～12:00 開講日の約1週間 前に受講証をお 送ります	大阪市内に在住・在勤・ 在学の方で、高齢者の介 護に関心があり、指定さ れた日程を休まず受講 できる方 ※現在介護のお仕事を されている方は、ご受 講いただけません	専門学校講師、介護福 祉士など	初めて介護をされる方を対象に、家庭 での介護の知識や技術を体験いただい て、介護への関心や理解を深めます。 【テーマ】 ①移動、車いすの使い方(予定) ②食事介助、衣服交換(予定) ③清潔介護(予定)	定員:各コース 20人(先着順) 受講料:500円 (資料代) 受講当日に現金で 申し受けます

●福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
介護職員研修 「アクティビティ」	9月5日(火) 10:00～16:00	大阪市内の福祉施設・事 業所に勤務する職員	特定非営利活動法人 キャンピズ 代表理事 桃山学院大学 兼任講師 水流 寛二	介護援助技術のひとつとして「アク ティビティ」の考え方を取り入れ、利用 者の喜びや生きがい、安心感に繋げら れるような援助方法を学びます。	定員:30人 締切:8月15日(火) 受講料:3,000円
訪問介護サービス 提供責任者研修	9月12日(火)・ 10月17日(火)・ 11月21日(火) 10:00～16:30	大阪市内福祉事業所の 訪問介護サービス提供 責任者	公益社団法人 大阪介護福祉士会	訪問介護サービス提供責任者として 必要な基礎知識を確認するとともに、 多様化する介護サービスの実態に対 応できるよう、事例検討などにより実 践的に学びます。	定員:20人 締切:8月18日(金) 受講料:9,000円
心をつなぐ コミュニケーション	9月20日(水)・ 9月27日(水) 10:00～16:30	大阪市内の福祉施設・事 業所に勤務する職員	TEAM EXE 代表 パフォーマンスアップ コーチ ナカムラ トモコ	相手の話を上手に「聴(訊)く」方法や 相手に上手に「伝える」方法など、職場 やプライベートでも役立つ実践的な コミュニケーション技術を学びます。	定員:54人 締切:8月21日(月) 受講料:6,000円
地域福祉活動者支援研修	10月7日(土) 14:00～17:00	大阪市内で地域福祉活 動を主体的にされてい る方や運営者等	福祉と教育の 実践研究所 SOLA 新崎 国広	地域福祉活動を運営していくうえで生 じる課題や問題との向き合い方、活動 を進めるための工夫やポイントを共有し、 具体的な実施手法について学びます。	定員:54人 締切:9月15日(金) 受講料:無料
福祉職員の メンタルヘルス研修 (セルフケア)	10月12日(木) 13:30～15:30	大阪市内の福祉施設・事 業所に勤務する職員	医療法人 平山クリニック 院長 平山 栄一	ストレス発生のメカニズム等の基本を 学び、援助者がストレスに適切に対処 するためのセルフケアの知識を身に つけ、対人援助職のモチベーション低 下や燃え尽き症候群を予防すること を学びます。	定員:36人 締切:9月13日(水) 受講料:1,500円
精神障がいのある人と 家族への支援実践講座	10月12日(木) 9:30～16:30 10月23日(月)・ 11月20日(月)・ 12月4日(月) 13:30～16:30	大阪市内の福祉施設・事 業所に勤務する職員	武庫川女子大学 専任講師 清水 由香 一般社団法人 あじさいネット代表 芦田 邦子 ゲストスピーカー	精神障がいのある人とその家族の支 援をしていくうえで必要なストレング ス視点に基づく基礎理論と技術を学 びます。	定員:20人 締切:9月15日(金) 受講料:7,500円
財務管理研修	【入門編】 10月18日(水) 10:00～16:30 【基礎編】 10月25日(水) 10:00～16:30	【入門編】大阪市内の福祉 施設・事業所の経理実務 担当者で会計を初めて学 ばれる方 【基礎編】大阪市内の社会 福祉法人の財務担当者	シェア税理士法人・林光 行事務所 税理士 林 竜弘	入門編では、社会福祉法人の会計の 仕組みや基礎的な考え方について学 び、基礎編では社会福祉法人の計算 書類の見方について、基礎的な技術 を身につけ、財務分析や予算と事業活 動計算の関係などについて学びます。	定員:各30人 締切:9月22日(金) 受講料: 【入門編】3,000円 +テキスト代800円 【基礎編】3,000円

研修につきましては、
次の措置を講じたうえで
実施する予定です。

- 空調設備により常時換気を実施しています。
- 休憩時間等には換気をすることがあります。
- マスクの着用については、個人の判断に委ねますが、福祉・介護関係者の参加も多いため研修中はマスクを着用することを推奨します。
- 消毒液を常備し、手に触れる箇所の消毒に努めています。

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

●福祉従事者向け研修の申込み方法▶当センターのホームページから申込みか、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

いつもと違う高齢者をみたら 在宅・介護施設での判断と対応 高齢者ケアのキーノート 第3版

荒井 千明 著 医歯薬出版 2023年
食べない、発熱した…。この状態は経過観察を
していてよいか、病院を受診したほうがよいか、
救急車を呼ぶ必要があるのか。在宅・介護施設
での判断を示した高齢者対応の手引き書。施設
内感染の留意点などを取り入れた第3版。



発達が気になる子の育て方 特別支援教育が教えてくれた

平熱 著 かんき出版 2023年
発達にまずきのある子どもたちと、そのまわ
りにいる大人のみなさんのために、特別支援
教育をベースにした「困った!」を小さくするヒ
ントが満載。将来子どもたちが社会に出たとき、
たくさんの人やサービスに助けてもらいな
がら、少しでも自立して生きていくために。



地震・台風時に動けるガイド 大事な人を護る災害対策

辻 直美 監修
メディカル・ケア・サービス 2023年
数多くの災害現場をみてきた防災のプロが、
要介護者・高齢者・家族など大事な人を護る防
災を、自宅と施設に分けて提案。介護に役立つ
防災術が満載。



DVD紹介

こころをつかむ 介護職員研修シリーズ 第3巻 訪問介護で求められる接遇マナー

日本経済新聞出版社 33分 2019年
介護の基本である食事、排泄介助に加え、特に
注意すべきプライバシー、介護のグレーゾ
ン、ハラスメント対応についても解説。
■プロローグ ■訪問先に到着時のマナー ■訪問中のマ
ナー【食事介助】【掃除】【排泄介助】 ■業務終了時のマ
ナー ■訪問介護のグレーゾーン ■プライバシーと個人情
報の保護 ■利用者家族からのハラスメント ■エピローグ



全国共通防災 熱中症対策Vol.2 ~熱中症を防ぐテクニック~

十影堂 28分 2021年
猛暑や高齢化などにより年々深刻な問題となっ
ている熱中症についての対策DVD。「熱中症の
予防」に焦点を当て、普段気を付けておきたい食
事や体づくり、水分補給の仕方や、高齢者や子
供・幼児の特に注意したいポイントなどを紹介!



ファーザー

インターフィルム 97分 2022年

80歳になった父親アンソニーに認知症の兆候
が見え心配する娘のアン。アンソニーの病状
は悪化していき、次第に自分の置かれている
立場を把握することが難しくなる。記憶と幻想
の境界が崩れゆく父と、戸惑う娘。親子の揺ら
る絆を描く、かつてない映像体験で心を揺さぶ
る感動作!



募集!! あなたの周りに眠っている古本はありませんか?

8月に開催する「リサイクルブックフェア」の古本を募集しています!

- 本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。何冊でもOK!
- 読めないほど傷んだ本の寄贈はご遠慮ください。
- 寄贈していただいた本は返却できません。
- 募集締切/8月16日(水)
- 受付場所/大阪市社会福祉研修・情報センター1階 事務所、2階 図書室



リサイクルブックフェア

「リサイクルブックコーナー」の古本を
無料で持ち帰りいただけます!

- 開催場所/1階 エントランス
- 開催期間/8月17日(木)10:00~
31日(木)15:00まで

図書・資料閲覧室の開館時間を延長しています!

毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください!

大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関係の雑誌などが充実しています。)



開室時間/月曜日~木曜日・土曜日 9:30~17:00、金曜日 9:30~19:00

貸出期間/2週間(図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで)

利用資格/貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類(免許証・保険証など)をご持参ください

休室日/日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

問合せ先/ ☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



生活習慣病予防のため 特定健診を受けましょう!

大阪市国民健康保険では高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、特定健診を実施しています。

私たちの健康をおびやかす、心臓病や脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は、ほとんど気がつかないうちに進行するので、身体の状態を確認するために毎年の健診が欠かせません。毎年健診を受け検査値の変化を見ていくことで、しのび寄り生活習慣病に気づき、早めに対応できるのです。

対象となる方には「受診券」をお送りしていますので、ぜひ特定健診を受けましょう!



対象者	40歳以上の大阪市国民健康保険被保険者 (来年の3月31日までに40歳になる方を含みます)
受診場所	① 府内取扱医療機関 ② 各区保健福祉センターや地域の小学校等の集団健診会場
検査内容 (基本的な項目)	身長・体重・腹囲・診察・血圧測定・血液検査(脂質・肝機能・ 血糖・腎機能)・尿検査
費用	無料
必要な物	受診券・保険証*・個人票

※マイナンバーカードの利用の可否については、予約時に各医療機関にご確認ください。

*受診券がお手元に届いていない場合や紛失された場合は、お住まいの区の保険年金業務担当にお問い合わせください。

*75歳以上の方は、後期高齢者医療健康診査を受けましょう。

問合せ ▶ 大阪市福祉局保険年金課(保健事業グループ)
☎06-6208-9876 ☎06-6202-4156

今月の自助具 / 片マヒ用グリップ手袋

主な適応疾患・対象者 ▶ 片側上肢不随のある方

機能・特徴

- マヒした方の左手でゴルフのクラブを握るためのゴルフ手袋
- ゴルフに限らずマヒした方の手でモノを握る用途に広く使用できる

使い方

- マヒしたほうの手に手袋をはめる。
- マヒした方の手を握りたいモノ(ゴルフのクラブ)に添える。
- 健常な方の手で収縮性バンドを手袋の上に巻いて止める。



資料提供・問合せ ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋
☎☎06-4981-8492(月・水・金 10:00~15:00)
NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活 応援グッズ

入浴を安全・快適に

使う方の体格・環境に
合うサイズを選べる



●シャワーチェア ユクリア Air

強度はそのままで軽量化を実現。業界最薄クラスの折りたため幅でもとてもコンパクト。防かび加工・防汚加工を施し、お手入れも簡単です。

コンパクトなのに
座りごこち広々



●ユニプラスコンパクトシャワーチェア

全幅は従来のコンパクトタイプのサイズでありながら、肘かけ内寸はミドルタイプのサイズなので、広々と座ることができます。

狭い浴室でも
開閉しやすい



●楽しくシャワーベンチSフィット(もちぶる)

誰でもかんたん楽しく開閉シャワーベンチに、もっちり柔らかソフトパッドを搭載。背もたれは上下反転させて角度を調節可能です。圧力を分散するので、長時間の利用も可能です。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会
介護情報・研修センター福祉用具展示場
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15
大阪府社会福祉会館1階

☎☎06-6763-1480
☎https://kansil.jp



アート
×
知的・発達
障がい

知的・発達障がいのある

アーティスト募集中!

アトリエ インカーブ

社会福祉法人 素王会 生活介護事業所

(広告)

チラシが作りたい
パンフレットが作りたい
カタログが作りたい
…でも、どうやって作ったらいいの?

**それ、アド・エモンに
おまかせください**

納得のご予算で

企画から取材・撮影・デザイン・
印刷・納品にいたるまで、あなたのイメージを
トータルでカタチにします。
下記まで気軽にご相談ください。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL:(06)6358-1010 FAX:(06)6358-1011 E-mail:info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

(広告)

大阪市社会福祉研修・情報センター

メンタルヘルス相談

(オンラインでの相談も可能です)

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、
対人関係がうまくいかない…。仕事上の
ストレスなどから生じる悩みの相談窓口で
す。ご本人からだけでなく、同僚や上司の
方からのご相談も受け付けています。

相談・予約電話 **秘密厳守 相談無料**

ハローサンキュー

06-4392-8639

対象 / 大阪市内在住またはお勤めしている福祉職員
相談方法 / 電話・オンラインまたは来所
相談日時 / 毎週土曜日と第1・3水曜日
いずれも9:30~16:00
※予約に関する問い合わせは、平日でも受け付けています。

相談員 / 臨床心理士

詳しくはウェルおおさかホームページで
<https://wel-osaka.com/mentalhealth>

大阪市内の社会福祉施設を対象としたメンタルヘルス
に関する出張研修を行っています
当センターへご相談ください。(☎06-4392-8201)



CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間 / 9:00～21:00まで(土・日曜日は9:00～17:00まで)

図書・資料閲覧室は9:30～17:00まで(月～土曜日) ※毎週金曜日19:00まで

休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	9:00～21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30～17:00)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	9:00～17:00
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	9:00～17:00

貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。
初めてご利用される方は、事前にお問合せください。

ウェルおおさか

利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。

電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200 FAX06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。

FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30～利用日の3日前までです。

詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。



■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	全日
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

交通 / ご来所には【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

●大阪シティバス

【長橋二丁目】バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

●JR大阪環状線・大和路線

【今宮】駅から徒歩約10分

●地下鉄・四つ橋線・御堂筋線

【花園町】駅(①・②出口)から徒歩約15分

【大国町】駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体 / 大阪市

運営主体 / (指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話 / ☎06-4392-8200(代表)

ファックス / FAX06-4392-8206

URL / https://www.wel-osaka.com

Facebookもチェック



【ウェルおおさか】に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…▶大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】人権問題

バリアフリー 心の壁も 取り除こう

さわたり ゆずき 佐渡 柚希さん(令和4年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 中学生の部 優秀賞)